

年 度 評 価 シ ー ト

課名 障害福祉企画課

施設の名称 静岡市清水なぎさホーム	指定管理者名 社会福祉法人 静岡市しみず社会福祉事業団				
1 履行状況					
業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。					
(1) 維持管理業務					
① 健康診断、医療管理業務					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の体重測定に加え、年 1 回の定期健康診断、結核検診等を実施し、利用者の健康管理が適正に行われた。 					
② 危機管理、防災対策					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マニュアルに則り、定期的に避難訓練を実施した。 ・ 安否コールシステムにより非常時の連絡体制を確保した。 ・ 施設で発生したヒヤリハット事例の集積と検証により、事故の未然防止に努めた。 					
② 建物・設備等の保守管理業務					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者による保守・管理等の業務が適切に実施された。 ・ 老朽化等に伴う設備修繕や安全対策として随時修繕を実施した。 ・ 定期清掃年 4 回に加え、職員による環境整備を年 12 回実施した。 					
(2) 施設利用者数 定員 20 人、契約者数 16 人					
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">開所日数</td> <td style="padding: 5px;">利用延人数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">267日 (268日)</td> <td style="padding: 5px;">3,150人 (3,147人)</td> </tr> </table>	開所日数	利用延人数	267日 (268日)	3,150人 (3,147人)	
開所日数	利用延人数				
267日 (268日)	3,150人 (3,147人)				
(3) 事業実施状況					
①施設運営関係					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の施設利用等に係る各種手続きが適正に行われた。 ・ 個別支援計画に基づき、個々にあった支援がなされている。 ・ 毎月 1 回発行する「なぎさだより」や「家庭連絡ノート」、保護者懇談会、個別面談等を通して、利用者とその保護者との連携、連絡調整を図った。 					
②利用者支援関係					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別送迎や土曜開所、ライフサポート事業を実施し家庭の介護軽減を図った。 ・ レクリエーション活動として、節分、ひなまつり、合同運動会等の季節行事を充実し、利用者の心身のリフレッシュを図った。 					
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）					
利用者からの苦情・要望等については、随時受付し、対応及び今後の再発防止に向けた取組みを行っている。					
3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価					

(1) 市民アンケート

本施設は、重度の障がいのある人が通所して訓練等を受ける施設であるため、利用者が限定されており、広く市民一般を対象としたアンケートは実施していない。

(2) 利用者満足度調査

施設利用者に対して年1回満足度調査を行っている。平成30年度の調査結果は、「はい」「まあまあ」の割合が90%を超えており、利用者の多くにとって適切な施設運営がなされていると判断できる。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況については、概ね予算のとおりにより執行されており良好である。法人全体として照明器具のLED化やコピー使用簿を導入するなど、経費削減に対する取り組みが行われている。また、電力自由化に伴う契約の見直しにより、電気料の削減に成功した。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

事業はおおむね計画のとおり実施されており、良好な結果であった。
施設の保守・点検等も必要な維持管理が適宜なされている。
職員研修において、多様な研修が実施された。
財務運営についても、概ね予算通りの執行となっている。
満足度調査アンケート結果はからも利用者との良好な関係がうかがえる。
今後も利用者の意見等を随時取り入れ、引き続き良好な施設運営を維持していくよう努めていただきたい。
施設利用者については、実習生の受け入れや医療的ケアへの対応など積極的な様子
がうかがえる。引き続き定員確保に向け特別支援学校との連携を図り、実習生の受け
入れを実施していただくとともに、医療的ケアへの対応など新たな課題についても利
用者の特性・ニーズに応じた対応が可能となるよう検討を行っていただきたい。